

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 むねかた 雅俊

記入日 3月 16日

所属政党 自由民主党

選挙区 南区

<アンケート回答記入欄>

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例;)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1 .		基本的には地域生活実現の支援を重点に、障がい者の程度や環境に応じた、実態のなかで施設の必要性も検討すべきである。
Q2 .		実態、実状に対応したサービスが必要と考えます。
Q3 .		受益者負担は一般的考え方ですが、障がい者とその家族の収入に応じた考慮も必要と考えております。
Q4 .		障害の区分、程度や障がい者とその家族の収入に応じた対応が必要と考えます。
Q5 .		少子高齢化が進む今日、バリアフリーの考え方を基礎に社会資本整備が急務であると考えます。
Q6 .		通常学級に在籍する事は自立を目指す決意として、受け入れ側の対応整備は勿論ですが 健常者から見た公平感から本人と家族の負担は大きいと理解しますが努力すべきであると考えます。
Q7 .		就労支援の促進は必要であり、その先駆者として行政が積極的に取り組むのは当然であります。
Q8 .		Q5で回答した通り 社会全体が共存、共有の精神の上から積極的に啓蒙、啓発を検討すべきである。
Q9 .		日本国憲法で人は生まれながらにして「基本的人権」を有してます 条例制定以前に実態、実状にあわせた環境整備や対応策検討が先かと考えます。
Q10 .	<p>市政参画を目指す新人として、課題が山積みですが、特に福祉政策は広範囲で且つ障がいの多様性で対応が多岐に亘りますが、基本的には少子高齢化、障がい者に対応したバリアフリー政策の考え方で社会資本整備、制度、環境づくりを目指し、社会と違和感なく融合する自立した障がい者を多数輩出する、人に優しいまちづくりを目指します。その中で行政サービスには常にコストがかかります、平行してサービスの向上拡大をする為にも 経済、景気政策を積極的に取り組み 税収の底上げや障がい者を含む雇用の拡大を図りながら、財政再建も両輪として考え 将来に向けた継続的福祉政策維持、向上を果たすことが使命と考えております。</p>	